

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 9	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Alcohol consumption and risk of microvascular complications in type 1 diabetes patients: the EURODIAB Prospective Complications Study</p> <p>1型糖尿病患者におけるアルコール摂取と細小血管合併症のリスク: EURODIAB 前向き合併症研究</p>	
執筆者	
Beulens JW, Kruidhof JS, Grobbee DE, Chaturvedi N, Fuller JH, Soedamah-Muthu SS.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetologia. 2008 Sep;51(9):1631-8.	
キーワード	
アルコール摂取 マクロアルブミン尿症 最小血管合併症 腎症 神経障害 網膜症 1型糖尿病	
要 旨	
<p>目的: EURODIAB 前向き合併症研究の 1 型糖尿病患者において、アルコール消費と最小血管合併症 (網膜症、神経障害、腎症) との関連を検証する。</p> <p>方法: EURODIAB 前向き合併症研究はヨーロッパの 16 の国々の 1 型糖尿病患者 3,250 人を含む追跡研究である。これらの患者のうちの 1,857 人において網膜症、神経障害および腎症のリスクと中等度のアルコール摂取との関連を横断的に検討した。</p> <p>結果: 増殖性網膜症 304 例、神経障害 660 例、そして腎症 (マクロアルブミン尿症) 157 例が記録された。アルコール摂取とこれら合併症のリスクには U 字型の関係を認めた。すなわち中等量アルコール摂取 (一週間あたり 30-70 g のアルコール) では最小血管合併症のリスクが低く、多変量調整後の各オッズ比 (95%信頼区間) は、増殖性網膜症 0.60 (0.37-0.99)、神経障害 0.61 (0.41-0.91)、そしてマクロアルブミン尿症 0.61 (0.41-0.91) であった。これらの結果は、健康上の理由で飲酒量を減らすように指導を受けた患者を除いた解析でも同様であった。これらの関連はワインからのアルコール摂取で最も著明であった。飲酒の頻度は神経障害のリスクと有意な負の関連を認めたが、その他の合併症とも同様の傾向が認められた。アルコール摂取とケトアシドーシスや低血糖発作の発症との関連は認めなかった。</p> <p>結論: 大血管合併症と同様、1 型糖尿病患者において中等度アルコール摂取は今回検討した全ての細小血管合併症のリスク低下と関連していた。</p>	